

# 自公、「週内成立」を確認

## 参院委きよう総括質疑



安保法案の廃案を求めて国会前で声を上げる人たち  
午後8時38分、東京・永田町、井手まゆみ撮影

安全保障関連法案を審議する参院特別委員会の鴻池祥雲委員長は15日、これまでの審議を締めくくると首相出席の質疑を16日に行うことを決めた。自民、公明両党は17日の参院本会議での採決を念頭に、今週中に成立させる考えだ。野党側は反発しており、内閣不信任決議案などの提出で抵抗する考えだ。一方、採決の前提とされる中央公聴会が15日開かれ、識者らが賛否の立場から意見を述べた。



2面＝最終盤でも 14面＝社説  
4面＝公聴会発言 39面＝どう思う？

## 野党、問責提出へ

民主党、維新の党、共産党は15日の参院特別委の理事懇談会や理事会で締めくくりに質疑に反対したが、鴻池氏が職権で開催を決めた。

自民、公明両党は16日夜か17日午前中にも特別委で採決を行う方針。18日まで参院本会議で可決、成立させる方向で調整している。

## 声の限り

与党が安保関連法案の採決を週内にも目指す中で、国会の外では抗議の声を上げる人たちが相次いだ。

東京・永田町の国会議事堂前では15日夜、前日に続いて市民らが「いまずく廃案」「強行採決、絶対反対」と訴えた。主催者発表による約1万5千人が参加した。

また、東京・霞が関では、元裁判官5人が75人分の元同僚の署名を添えた意見書を15日、国会に郵送。記者会見を開き、「声を上げるのをやめれば、間違った方向に動くかもしれない」と訴えた。

安倍晋三首相は15日、谷垣禎一幹事長と会談。週内に法案を成立させる方針を改めて確認した。

民主など野党側は法案の成立阻止に向け、参院で安倍首相や中谷元一防衛相、岸田文雄外相らの問責決議案、衆院では安倍内閣不信任決議案をそれぞれ提出す

## 中央公聴会 識者ら賛否

### 抑止力格段に強化

### 国民理解得られず

中央公聴会では、与党推薦の公述人が安全保障環境の変化に対応するため法整備の必要性を指摘。野党推薦の公述人は法案に対する理解が広がっていない点を強調し、反対を表明した。

案だ。我が国を取り巻く国際環境が一段と厳しさを増す中で、必要かつ望ましい」と評価した。

野党推薦では、小林節・慶応大名誉教授（憲法学）

る方針。自民党幹部によると、これらの採決には1本あたり数時間かかる可能性があり、夜を徹して本会議を断続的に開き、遅くとも18日昼ごろまでの法案成立を想定している。

一方、自民、公明両党と、野党の次世代の党、日本を元気にする会、新党改革の

3党の実務者は15日、法案の修正協議を行い、自衛隊の海外派遣について、安倍内閣が国会の関与を強める閣議決定を行うことなどで大筋合意。3党は法案に賛成する方針だ。また両党は15日、維新の党との修正協議について、「法案修正はできない」として打ち切った。

が「明白に違憲な法律が多数決で強行されよう」として。政治家が憲法を無視することは独裁政治の始まりだ」と述べた。法案反対のデモなどを呼びかける学生団体「SEALDs」(シルズ)メンバーで、明治学院大生の奥田愛基氏は「国会を異例の9月末まで延ばした結果、国民の理解を得られなかったのだから、廃案しかない」と訴えた。

このほか、与党推薦で白石隆・政策研究大学院大学長が、野党推薦で浜田邦夫・元最高裁判事、松井芳郎・名古屋大名誉教授が意見を述べた。

9/16  
10/10